

秋田のひと × 秋田の美



■空路をご利用の場合

- ◇ 東京(羽田) ~秋田空港 所要時間: 約65分
 - ◇ 名古屋 ~秋田空港 所要時間: 約70分
 - ◇ 大阪(伊丹) ~秋田空港 所要時間: 約80分
 - ◇ 札幌(新千歳) ~秋田空港 所要時間: 約55分
- 秋田空港から大曲駅まで車で約60分

■鉄道をご利用の場合

-
- ◇ 秋田新幹線こまち 東京~盛岡~田沢湖~角館~大曲 所要時間: 約3時間30分
 - 秋田~大曲 所要時間: 約30分

■大曲駅周辺マップ



- 「秋田の美 × 写真の力」
 - シンポジウム会場
 - フォトコンテスト公開審査会場
 - 10月11日(土)
- 「秋田の美 × 写真の力」
 - 木村伊兵衛特別写真展
 - 「秋田美人フォトコンテスト」応募作品展示
 - 10月4日(土)~11月3日(月・祝)

●大曲駅から会場まで約2km、車で約5分

「秋田美人」フォトコンテスト事務局

〒014-0062 大仙市大曲上栄町2番16号 大仙市教育委員会生涯学習課内
 TEL: 0187-63-1111 (内線 339) FAX: 0187-63-7131
 URL: <http://www.city.daisen.akita.jp/s/kokubunsai/> E-mail: kokubunsai@city.daisen.akita.jp



【秋田美人フォトコンテスト応募票】(複写可)

受付No. ※事務局使用欄			
タイトル	(ふりがな)	カメラ	
撮影日	平成 年 月 日	種別	・フィルム () ・デジタル (一眼 ・ コンパクト) ・その他 ()
撮影場所			
コメント [秋田美人との関連]			
氏名	(ふりがな)	年齢	性別 職業
住所	〒 -		男 ・ 女
電話		FAX	
E-mail			

※作品裏面にテープで貼付して下さい。

国民文化祭大仙市主催事業「秋田の美 × 写真の力」

秋田美人 フォトコンテスト

皆さんの「秋田美人」を募集します

募集期間

平成25年12月2日(月)~平成26年7月31日(木)

展示期間: 平成26年10月4日(土)~11月3日(月・祝) 秋田県大仙市大曲交流センター
 公開審査: 平成26年10月11日(土) 午後1時30分~ 秋田県大仙市大曲市民会館 小ホール

■審査員(50音順)

石黒 健治氏(写真家)

木村伊兵衛先生の「秋田」には、
 すぎ笠の「秋田おぼこ」のほかにも
 多くの美しい人が出てきます。子
 もに乳を与える母美人、田で働く老
 美人などなど。きれいなだけでなく
 心に響く現代の美しいひとの写真を
 たくさん期待しています。

織作 峰子氏(写真家)

美人とは、心が美しい女性のこと
 だと思います。一生懸命に生きてい
 る女性のことだと思います。そんな
 女性こそが「秋田美人」です。秋田
 の豊かな大自然に育まれた魅力的な
 「秋田美人」を、写真という形に表
 現してください。
 貴方が思う「秋田美人」に出会え
 ることを楽しみにしています。

金子 隆一氏 (写真評論家)

「美しい人」とはどういう人のこと
 を言うのだろうか。ひとりでい
 を言うのだから。姿勢がくっきり
 としている人のことである。カメ
 ラ・アイを通して、その姿をスト
 レートにとらえて欲しい。そこに
 は、まぎれもない「秋田美人」の本
 質が、人間の本来として、くっきり
 と浮かびあがってくるはずだ。
 それが写真の力なのだ。

田沼 武能氏 (写真家 日本写真家協会会長)

木村伊兵衛先生は、「いま」に生きる人の喜び、悲しみ、
 そして働く人の美しさを求めて写真を撮り続けていまし
 た。「私は人形のような美人は撮らない」とも言っていま
 たものです。
 私は毎年、小、中、高校生の撮る「はたらくすがた」の
 写真審査をしています。学生たちは、自分の身の両親や
 祖父母、親しい人たちの働く姿を捉えています。彼らは
 出会いの感動をストレートに表現しており、技術的に少々
 未熟でも私はその写真に強い感動を受けています。人間、
 老いる人も若い人もそれぞれ美しい輝きを持っています。
 そんな姿を写真に捉えてチャレンジして下さい。

西木 正明氏(直木賞受賞作家)

秋田美人の心髄は、容姿的にはスッピン、すな
 わち素顔の美しさにあると思います。田植えや稲
 刈りの時期、頬被りした農作業姿の女性の中に、
 化粧けなしのスッピンなのに、ドキリとさせられ
 るような美人をしばしば見かけます。時代は流れ、
 農作業の現場以外にも、町中や家の前の道端など、
 あるいは高校や大学の門前で見かける、かざりつ
 気なしの美女をたくさん見かけます。要は、生活
 の現場で見かける素顔の美女。これが秋田美人の
 典型だと思います。



第29回 国民文化祭・あきた2014



「秋田美人」フォトコンテスト募集要項

趣 旨

戦後の日本写真界を代表する故木村伊兵衛氏は、秋田、特に大仙市（旧大曲）を多く訪れて取材を続け、自身の代表作である「秋田シリーズ」を完成させました。

そこで、木村伊兵衛氏の愛したさまざまな秋田の美の中から、木村氏の代表作「おばこ」で知られる「秋田美人」をテーマに、やがては第二の木村伊兵衛氏と呼ばれる人材の輩出に結びつくきっかけとなるような「秋田美人」フォトコンテストを開催します。

主 催

文化庁 秋田県 秋田県教育委員会 大仙市 大仙市教育委員会
第29回国民文化祭秋田県実行委員会 第29回国民文化祭大仙市実行委員会

事業内容

秋田が誇る「秋田美人」、秋田での暮らしの中で培った美しさを持つ人など、さまざまな「秋田美人」をテーマとした写真作品を全国から募集します。応募者全員の作品を展示するとともに、入賞者の中から上位の賞を決定する公開審査を行います。

応募規定

①応募点数

応募点数の制限なし（応募者全員の作品を展示予定）。ただし、入賞は1人1点までとします。

②作品規格

- 応募作品は未発表のもので、3年以内に撮影された作品に限ります。
- 単写真（サイズは四切り（ワイド可）またはA4サイズ（カラー・白黒不問））
組写真（5点以下。全紙倍判の黒マットパネル（木製）に貼付）
- 必ずプリントで応募してください。（データ送信やCD-R等メディアでの応募不可）

③応募費用

応募料 無料（ただし、応募に係る送料等の費用については応募者負担）

④応募方法

- 1作品につき1枚、必要事項を記入した応募票（複写可）を作品裏面中央に貼付（テープ貼。のり付不可）してください。
- 作品の裏面に氏名、タイトル、作品天地を表す「↑」を必ず記載してください。
- 単写真については、台紙に貼らずに応募してください。
- 作品の取り扱いには充分注意しますが、郵送中の破損および紛失等については一切責任を負いません。郵送で応募する際は作品保護のため厚紙等を入れてください。

⑤留意事項（本コンテストに応募された時点で以下の留意事項に同意したものとみなされます）

- 応募作品の著作権及び著作権、使用权は主催者に無期限に帰属します。
- 使用方法是主催者に一任するものとし、二次利用を認めた場合も同様の取り扱いとします。（使用方法により、フィルムカメラ撮影作品はポジ・ネガフィルムの提出を、デジタルカメラ撮影作品はCD等によりデータを提出していただく場合があります）
- 他者の知的財産権を侵害しない作品に限ります。また、被写体人物の肖像権侵害等の責任は負いかねますので、応募に際しては本人（被写体）の承諾を得てください。
- 応募作品に関し、被写体の肖像権等権利侵害や損害賠償など第三者からの苦情、異議申し立てがあった場合、主催者は一切の責任を負いません。万一、第三者と紛争が生じた際は、応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。
- 応募規約に違反した応募、または入賞決定後でも類似した作品や二重応募と主催者が判断した場合は、入賞を取り消すことがあります。

- 本コンテストの趣旨に反する作品は受け付けできません。
- ご応募いただいた作品は、原則として返却しません。（返却を特に希望する場合は、応募先での直接引き取りまたは返送に係る切手を貼付した返信用封筒を同封してください。ただし、入賞作品は返却しません。）
- 応募書類に記入漏れや書類の不備が認められる場合は受け付けできません。
- 展示方法の都合上、作品は台紙枠内に天地左右1cm程トリミングされた展示となる場合があります。
- 入賞作品は、別途当事務局でパネル等に貼付して展示します。
- 作品が入選・入賞した場合は、応募者の氏名・居住市町村名が新聞等に掲載される場合があります。
- 申し込みに係る氏名・住所等の個人情報は当コンテスト運営に必要な範囲内で利用し、応募者の同意なく本来の目的を超えて利用することはありません。
- 応募された作品は、大仙市文書取扱規程に基づき管理します。

⑥応募期間及び送付先

- **応募期間** 平成25年12月2日（月）～平成26年7月31日（木）
（※郵送応募は当日消印有効）

- **応募・問合せ先** 「秋田美人」フォトコンテスト事務局

〒014-0062 秋田県大仙市大曲上栄町2番16号

大仙市教育委員会生涯学習課内

TEL：0187-63-1111(内線339) FAX：0187-63-7131

URL＝http://www.city.daisen.akita.jp/s/kokubunsai/

E-mail：kokubunsai@city.daisen.akita.jp

審 査

次の審査員により審査を行い、入選作品・入賞作品を決定します。審査結果は後日報道機関や市のホームページ等を通じ掲載します。個別の問い合わせ及び異議には応じません。

- **審査員（50音順）** 写真家 石黒 健治 氏
写真家 織作 峰子 氏
写真評論家（東京都写真美術館専門調査員）金子 隆一 氏
写真家（日本写真家協会会長） 田沼 武能 氏
小説家（直木賞受賞作家） 西木 正明 氏

- **審査方法** 一次審査(平成26年8月予定)にて入選・入賞作品を選考後、入賞者には別途通知します。入賞作品の中から、下記国民文化祭期間中の公開審査で各賞を決定し表彰します。

公開審査：平成26年10月11日（土）午後1時30分から午後3時30分

会 場：大仙市大曲市民会館・小ホール

秋田県大仙市大曲日の出町2丁目6番60号

- **表 彰** グランプリ（文部科学大臣賞）、準グランプリ（国民文化祭実行委員会長賞）ほか、優秀賞、審査員特別賞など各賞を予定

- **表 彰 式** 公開審査終了後、同じ会場で上位入賞者へ賞状および副賞の授与を行います。（午後3時45分から）

展 示

- **展示期間** 平成26年10月4日(土)～11月3日(月・祝)
- **展示会場** 大仙市大曲交流センター 講堂
秋田県大仙市大曲日の出町2丁目7番53号